

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【公表番号】特表2003-534246(P2003-534246A)

【公表日】平成15年11月18日(2003.11.18)

【出願番号】特願2001-572454(P2001-572454)

【国際特許分類】

C 0 7 C 235/66 (2006.01)

A 6 1 K 31/196 (2006.01)

A 6 1 K 31/245 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/21 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 235/66

A 6 1 K 31/196

A 6 1 K 31/245

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 37/66 E

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月31日(2008.3.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

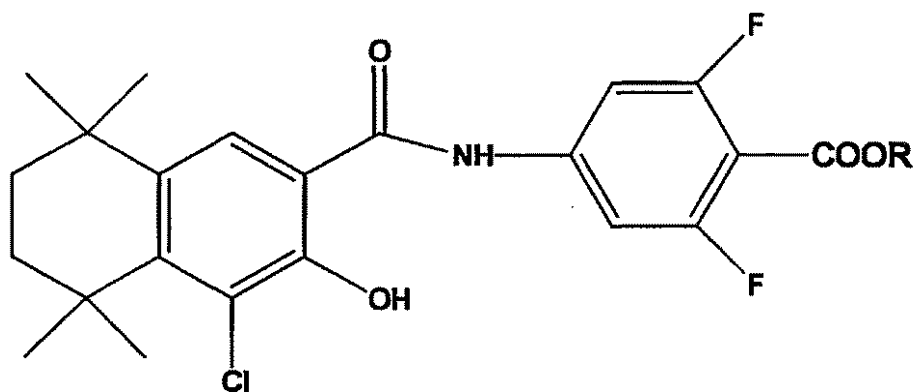
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 式：

【化1】



[式中、RはHまたは炭素数1～6の低級アルキルである]

で示される化合物または前記化合物の医薬的に許容できる塩。

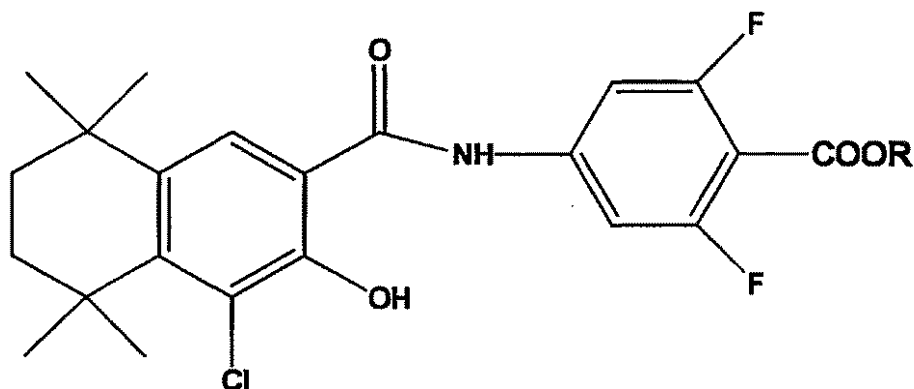
【請求項2】 Rが炭素数1～3の低級アルキルである請求項1に記載の化合物。

【請求項3】 RがHである請求項1に記載の化合物または前記化合物の医薬的に許容できる塩。

【請求項4】 哺乳動物の悪性疾患または悪性状態を処置するための医薬組成物であ

って、医薬的に許容できる賦形剤と、式：

【化 2】



〔式中、RはHまたは炭素数1～6の低級アルキルである〕

で示される化合物または前記化合物の医薬的に許容できる塩の処置有効量とを含む医薬組成物。

【請求項 5】 前記化合物の式においてRが炭素数1～3の低級アルキルである請求項4に記載の医薬組成物。

【請求項 6】 前記化合物の式においてRがHであるかまたは前記化合物の医薬的に許容できる塩である請求項4に記載の医薬組成物。

【請求項 7】 前記哺乳動物の悪性疾患または悪性状態の処置に有効な化学療法剤をさらに含む請求項4に記載の医薬組成物。

【請求項 8】 前記哺乳動物の悪性疾患または悪性状態の処置に有効な化学療法剤をさらに含む請求項5に記載の医薬組成物。

【請求項 9】 前記哺乳動物の悪性疾患または悪性状態の処置に有効な化学療法剤をさらに含む請求項6に記載の医薬組成物。

【請求項 10】 前記哺乳動物の悪性疾患または悪性状態の処置に有効な化学療法剤がインターフェロンである請求項7に記載の医薬組成物。

【請求項 11】 前記哺乳動物の悪性疾患または悪性状態の処置に有効な化学療法剤がインターフェロンである請求項8に記載の医薬組成物。

【請求項 12】 前記哺乳動物の悪性疾患または悪性状態の処置に有効な化学療法剤がインターフェロンである請求項9に記載の医薬組成物。

【請求項 13】 日用量約50～500mgの前記化合物を含む請求項4に記載の医薬組成物。

【請求項 14】 乳癌の処置に適した請求項4に記載の医薬組成物。

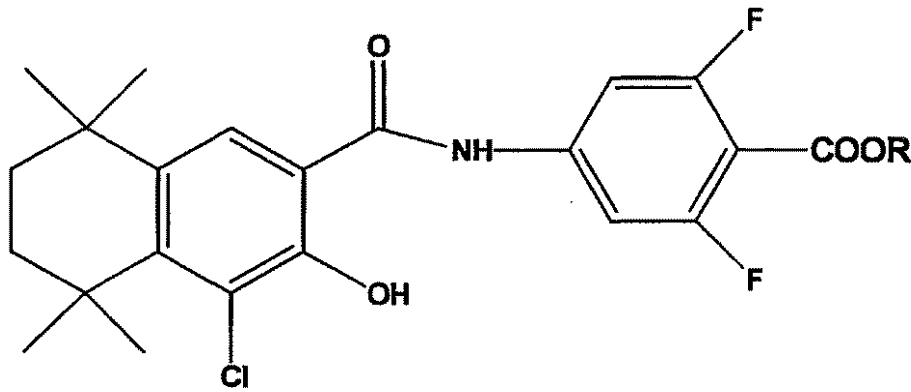
【請求項 15】 前記哺乳動物の悪性疾患または悪性状態の処置に有効な化学療法剤が、ヒト組換えインターフェロン α 、ヒト組換えインターフェロン β 、またはヒト組換えインターフェロン γ である請求項9に記載の医薬組成物。

【請求項 16】 乳癌の処置に適した請求項15に記載の医薬組成物。

【請求項 17】 哺乳動物の悪性疾患または悪性状態を処置するための医薬組成物であって、

医薬的に許容できる賦形剤と、式：

【化 3】



[式中、RはHまたは炭素数1～6の低級アルキルである]

で示される化合物または前記化合物の医薬的に許容できる塩の治療有効量とを含み、

前記哺乳動物の悪性疾患または悪性状態の処置に有効な他の化学療法剤と併せて投与する医薬組成物。

【請求項18】 前記化合物の式においてRが炭素数1～3の低級アルキルである請求項17に記載の医薬組成物。

【請求項19】 前記化合物の式においてRがHであるかまたは前記化合物の医薬的に許容できる塩である請求項17に記載の医薬組成物。

【請求項20】 日用量約50～500mgの前記化合物を哺乳動物に投与する請求項17に記載の医薬組成物。

【請求項21】 前記哺乳動物の悪性疾患または悪性状態が乳癌である請求項17の医薬組成物。

【請求項22】 他の化学療法剤がインターフェロンである請求項17に記載の医薬組成物。

【請求項23】 他の化学療法剤がインターフェロンである請求項21に記載の医薬組成物。

【請求項24】 哺乳動物の悪性疾患または悪性状態を処置するための医薬組成物であって、

医薬的に許容できる賦形剤と、RAR β 受容体およびRAR γ 受容体よりもRAR α 受容体に特異的または選択的なアゴニストである化合物の処置有効量とを含み、

前記哺乳動物の悪性疾患または悪性状態の処置に有効な他の化学療法剤と併せて投与する医薬組成物。

【請求項25】 日用量約50～500mgのRAR α 特異的または選択的化合物を哺乳動物に投与する請求項24に記載の医薬組成物。

【請求項26】 前記哺乳動物の悪性疾患または悪性状態が乳癌である請求項24に記載の医薬組成物。

【請求項27】 他の化学療法剤がインターフェロンである請求項24に記載の医薬組成物。

【請求項28】 前記哺乳動物の悪性疾患または悪性状態が乳癌であり、他の化学療法剤がインターフェロンであり、日用量約50～500mgのRAR α 特異的または選択的化合物を哺乳動物に投与する請求項24に記載の医薬組成物。